石造密厳寺九重層塔

指定区分	県指定重要文化財（建造物）
読みかた	せきぞうみつごんじくじゅうそうとう
所在地	和気町佐伯
指定年月日	昭和33年4月10日
解説	元享2年(1322)の造立。花崗岩製。現在、造立時の相輪は失われており、その代わりに宝篋印塔の塔身から上を載せている。九層の笠の頂きまでの高さが5.23m。初重軸部の四面をそれぞれ舟型に掘り、そこに四方仏を陽刻している。また、左右側面及び背面には銘文が刻まれている。基礎は二重に造られている。五重層塔と同じく、密厳寺の旧物であり、太王山から移転したものである。沙門行心が法界の利益を願って勧進し、造立したもの。
アクセス方法	JR和気駅から車で20分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場 P　トイレ
備考	